

一致団結 ～輝け みんなの思い～

6月24日(土)に令和5年度体育祭を実施しました。保護者の皆様、地域の皆様ご参観いただきありがとうございました。また、アンケートのご協力重ねてお礼申し上げます。頂いたご意見につきましては、来年度の体育祭の参考にさせていただきます。

今年度は、上記のスローガンのように全校生徒の絆を深めるために『全校ダンス』をプログラムに入れました。このダンスは、3年生の有志生徒を中心に、2年生の頃から準備してきました。振り付けやダンスの曲選定まで全て自分たちで考え、タブレットを使用して全校生徒に振り付けを共有しました。

当日は、日差しが強く、気温が高い中でしたが、天候を味方にして自分たちで築き上げた最高の体育祭になりました。ここで得た経験をこれからの学校生活に活かしましょう。



第41回「社会環境を明るくしよう渋谷区民のつどい」

7月1日(土)、渋谷区役所にて行われた「社会環境を明るくしよう渋谷区民のつどい」に、上原中学校の代表として生徒会長 桐原朋世さんが出席し、意見発表を行いました。渋谷区区長や渋谷区議会議長、原宿警察署所長など、多くの来賓の方々から注目され緊張感のある雰囲気の中でも、桐原さんは、自分の意見を立派に発表していました。



人と人がつながる上で大切なこと

桐原 朋世

私は社会を明るくするためには一人一人の想像力が大切だと思います。その想像力とは、言動が人をどのような気持ちにさせるのかしっかりと考え想像する力のことです。人と直接かかわる上でももちろん想像力は大切ですが、色々な情報が日々飛び交う情報化社会を生きていく上で、私たちに必要な想像力とは何でしょう。

現在私たちは毎日のようにSNSを利用しています。SNSはインターネットを通じて人と人とのつながりを作ることができたり、誰でも簡単に情報を発信・取得できたりする便利なツールです。代表的なものは、ツイッター・フェイスブック・ティックトックなどです。私も、そんな便利なツールを利用する数多くの人の一人です。

私は以前、高校生が回転寿司店で迷惑行為をする動画をSNS上に投稿していたのを知りました。迷惑動画を投稿した人はその場は楽しかったのかもしれませんが、社会から批判され、企業から賠償請求をされ非常に苦しい思いをしたはずで、投稿者が苦しい思いをただけでなく、その動画を目にした人も飲食店での迷惑行為に不快な気持ちになったと思います。一方で、迷惑動画を見た人の中には、その情報を面白おかしく誇張し、連鎖的に発信してしまう人がいました。また投稿者のプライベートな情報を憶測で、事実と異なるかもしれないのに発信したりする人もいました。企業は顧客減少、イメージダウンなど実害を受けました。結果的に、迷惑動画をあげた人も、迷惑行為を受けた企業も、情報を見た人も、みんなが嫌な思いをしてしまいます。自分が扱う情報が人をどのような気持ちにさせるのか一人一人が想像することが必要です。

「動画をあげただけなのに」

「これくらいなら大丈夫だろう」

と、軽い気持ちで情報を発信することは、それがたとえ自分にとっては小さなことだったとしても、ほかの人の人生、自分の将来を変えてしまうかもしれません。情報を発信するだけでなく、情報を受け取る側にも想像力が必要だと思います。

SNSには匿名で自由にコメントができる機能がついています。素敵なコメントをする人もいますが、匿名であるがゆえに相手の人格や外見、性格などについて、対面では言わないようなきつい口調や傷つく言葉をのせる人がいます。このような誹謗中傷によって、言われた人は深く傷つき、自殺にまで追い込まれる人もいます。また本人が傷つくだけでなく、そのコメントを見た人が自分に言われたように感じたり、違う意見の人同士が言い争いをしたりして、みんなが嫌な思いをしてしまいます。自分の発信する言葉が人をどのような気持ちにさせるのか想像することがこれからの情報化社会を生きていく私たちに必要なことだと思います。便利なインターネットを正しい使い方でも誰も傷つかず快適に利用できるように使いこなすスキルが必要でしょう。

自分が扱う情報、言動が人をどのような気持ちにさせるのかしっかりと考え、想像することがこれからの社会を明るくすることにつながります。そのような、人を思いやる心、想像することをSNSだけではなく、人と実際に関わる上でも大切にしていきたいです。一人一人が相手の気持ちを考えることを心掛けることで社会は明るくなると思います。